

# 南譚 リミックス<sup>2022</sup>

荒木 悠 | 身体0ベース運用法  
Load na Dito | Yukawa-Nakayasu

## 美術展覧会

Nantan Remix 2022

10/10<sup>月祝</sup>・14<sup>金</sup>-17<sup>月</sup>・21<sup>金</sup>-23<sup>日</sup> 11:00-17:00

南丹市八木町JR八木駅前商店街 [ちびねこ映画館 | 川定 | オーエヤマ・アートサイト]

アーティスト | 荒木悠 | 身体0ベース運用法 | Yukawa-Nakayasu

## アーティストトーク

10/23<sup>日</sup> 13:00-14:30 集合場所 | みんなのTERAKOYA おおいかわ

アーティスト | 荒木悠 | 身体0ベース運用法 | Yukawa-Nakayasu



## タウンミーティング

国際芸術祭『南丹アートフェスティバル2023(架空)』を考えてみる

10/22<sup>土</sup> 14:00-15:30 開場 | 13:30

南丹市八木市民センター 文化ホール

アーティスト | Load na Dito | Yukawa-Nakayasu

ファシリテーター | 宮下忠也 [京都府南丹地域アートマネージャー]

## ラウンドテーブル・ディスカッション

地域とアート | アートと地域

10/23<sup>日</sup> 15:00-16:30 開場 | 14:30

南丹市八木市民センター 文化ホール

アーティスト | 荒木悠 | 身体0ベース運用法 | Yukawa-Nakayasu

ファシリテーター | 宮下忠也 [京都府南丹地域アートマネージャー]

■詳細情報 <https://kyotohoop.jp/program/nantan2022/>



KYOTOHOOP

文化芸術による「ヒト・モノ(場)・コト」を、京都府域に繋ぎ・育む取組『京都府域文化創造促進事業』  
についての情報を発信しています。



ル2023(架空)』を考えてみる」と題し、来年、南丹でアートフェスティバルを開催するとしたらどのような企画が考えられるのか、地域の人たちとともにアイデアを出し合います。南丹市とマニラ市は、戦国武将で八木城主の内藤ジョアンがキリシタン追放令により高山右近らと共にマニラへ追放され、その地で死去したという史実をきっかけに、1985年8月21日に姉妹都市となりました。ジョアンというひとりの人間の生き様により結びつけられた2つのまちを、アートの視点を交えることでどう再編集/再接続し、次のフェーズへと展開させていくことができるでしょうか。

■タウンミーティングには、マニラを拠点に活動するリサーチとアート・プロジェクトのためのモバイル・プラットフォーム Load na Dito(ロード・ナ・ディト)のメンバーも Zoom で参加します。マニラのアーティストたちの視点も交えることで、より多角的で魅力的な企画案が生まれることが期待されます。

■ラウンドテーブル・ディスカッション「地域とアート | アートと地域」では、様々な土地で滞在制作、作品発表をしたことのある本プログラム参加アーティストたちが、アートやアーティストが地域と交わる時に起こる諸問題について、これまでの経験を元に話し合います。

■アーティストがアートによる地域活性化についてどう捉えているのか、アーティストにとっての地域の魅力とはどのようなものなのか、自身の作品の題材として地域資源を取り扱うことについての是非や、これまでどのような点に配慮して活動してきたのか...

■アーティストの視点から始まるディスカッションですが、地域とアートを考えるときに「地域の視点」は決して欠かすことができません。アーティストと地域の人たち、さらには本イベントに来場された全ての人が、フラットな立場で、双方向的に意見交換できるような場になればと考えています。ぜひお気軽にご参加ください。

すべて入場無料

■主催 | 京都:Re-Search 実行委員会(京都府ほか)

■後援 | 南丹市

■助成 | 令和4年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業





撮影: 黒田 菜月

### 荒木 悠 | Yu Araki

アーティスト・映画監督

1985年生まれ。文化の伝播や異文化同士の出会い、またその過程で生じる誤解や誤訳の持つ可能性に強い関心を寄せている。特に、近年手掛けている映像インスタレーションでは、歴史上の出来事と空想との狭間にある物語を編み出し、再演・再現するような手法を展開している。2022年は、無人島プロダクション（東京）と RC HOTEL 京都八坂（京都）での個展に加え、大阪中之島美術館からのコミッション・ワークや、京都市京セラ美術館ザ・トライアングルでの『彦坂敏昭：砂のはなし』展内に新作を発表した。



<http://yuaraki.com/>  
@ikarayu



《Almost There》(2021) Image courtesy of Kamloops Art Gallery

### Load na Dito | ロード・ナ・ディト

リサーチとアート・プロジェクトのためのモバイル・プラットフォーム。平野真弓とマーク・サルバトスによって2016年から活動開始。型にはまらないプログラムの企画・実施の方法を試している。人、もの、イメージやアイデアが自由に反応しあうような状況作りに取り組み、「参加」や「協働」という言葉に含まれる問題と可能性を探っている。

#### 平野真弓 | Mayumi Hirano

キュレーター・Load na Dito Projects 主宰  
撮影: Mark Salvatus



フィリピン大学ディリマン校芸術学部講師。アーティストが主宰する芸術祭や展覧会の調査を行なっている。

#### Mark Salvatus | マーク・サルバトス

アーティスト 撮影: Zaldine Alvaro  
フィリピンのケソン・シティを拠点に活動中。マニラのサント・トマス大学美術デザイン学部で広告美術を学ぶ。これまで、アジア・アート・ビエンナーレ2021（台湾）、第2回ラホール・ビエンナーレ（バキスタン）2020、シャルジャ・ビエンナーレ14（UAE | 2019）、光州ビエンナーレ2018 PCAN パビリオン『How Little You Know About Me』（韓国 | 2018）、『サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年から現在まで』（森美術館 | 2017）、ヴェネツィア建築ビエンナーレ・フィリピン館（イタリア | 2016）、SONSBEEK International（オランダ | 2016）など、さまざまな展覧会で作品を発表している。Load na Dito Projects 共同設立者。



<https://loadnaditoprojects.cargo.site/>



撮影: 来田 猛

### 身体0ベース運用法 | Shintai Zero=Base Unyoho

染色作家 安藤隆一郎による「ものづくりの視点」から考える身体論で、ものとの関わりから生まれる身体感覚、運動、機能をゼロから見直し、人間本来の身体の運用法を見出す試み。医学やスポーツといった専門的なものとしてではない、私たちの身の回りにある身体を、アートというツールを用いて翻訳し、伝えることで、身体の消えゆく未来へ向けてその可能性を問い直している。2016年活動開始。2017年には会場をジムに見立てた体験型展示『0GYM』（京都市立芸術大学ギャラリー@KCUIA）を開催。ワークショップやレクチャーを多数実施。

#### 安藤 隆一郎 | Ryuichiro Ando

染色作家

1984年京都生まれ。京都市立芸術大学工芸科染織専攻修士課程修了。京都市立芸術大学染織専攻講師。



<https://www.shintai-0-base.com/>  
@shintai.0.base



撮影: 奥太 普

### Yukawa-Nakayasu | ユカワナカヤス

アーティスト

1981年大阪府生まれ。歴史や習俗や習慣をもとに、社会や身体、日常に内在している営みや現象を視覚化する作品を制作。特に、近年では「生命の循環」まで視野を広げ、生命の営みとその現象との相互関係に着目している。2019年からアートハブ TRA-TRAVEL を立ち上げ、2020年には『ポスト LCC 時代の』（京都芸術センター）などの展覧会をプロデュースした。また、京都府等が実施したアーティスト・イン・レジデンス事業『京都 :Re-Search』（2019）、展覧会『大京都 2020 in 和束』のゲストアーティストとして、和束町にて滞在制作、作品発表をおこなった。

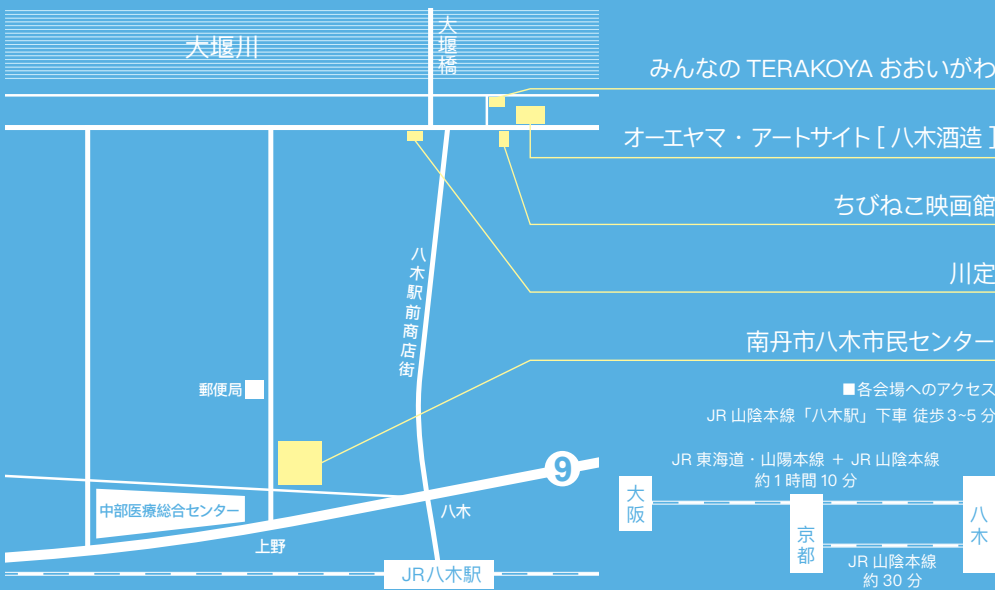


<http://yukawanakayasu.net/>  
@yukawa\_nakayasu



# PAOTAN REMIX 2022

荒木 悠 | 身体0ベース運用法 | Load na Dito | Yukawa-Nakayasu



- 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、実施内容を変更・中止する場合があります。
- マスクの着用、手指のアルコール消毒、互いの距離を1~2mあけるなど、感染拡大防止の徹底にご協力ください。
- 発熱等の症状がある方はご来場をお控えください。
- 「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」、京都府新型コロナウイルス緊急連絡サービス「こころ」の導入をお願いします。

問合せ: 京都府南丹広域振興局 企画・連携推進課  
南丹地域アートマネージャー（宮下）

Mail [a-08016@pref.kyoto.lg.jp](mailto:a-08016@pref.kyoto.lg.jp)  
Tel 0771-24-8430（月曜~木曜 9:00~17:00）

